

会社概要

創業者 昭和61年11月
代表取締役 鮫島 亘
従業員 35名
業種 簡易金型(試作金型)製造、
射出成形、物流業
所在地 宮崎市佐土原町東上那珂字石塚
17880番地45
TEL/FAX 0985-30-5801/0985-30-5805
U R L http://www.technomart-k.co.jp/



表彰理由

代表取締役 鮫島 亘 氏

表彰項目 『オンリーワンの視点』 ～ オンリーワンの製品や技術により産業を支えている企業 ～

従来、金型はスチールを用いて製造していたが、切削加工等の様々な加工技術により作成するため、コストと時間が掛かっていたところ、同社では、通常は鉄で製作する金型を高強度のアルミ材を用いて、切削加工のみで金型を作る技術を開発した。
この技術は県内唯一で、従来のスチールでは、一度型を作成すると多量の成形品を作らなければコストを回収できなかったが、多品種少量(1~3万個程度)の中小ロット成形品を、低コスト(従来の1/2)・短納期(従来の1/3)で提供することに成功し、少量ずつしか作らない試作品の作成を容易にした点が評価された。また、自動車部品の金型製造を主に行っていたが、医療・福祉分野での試作品製作という新分野へも事業を展開しており、今後の成長という意味でも評価が高かった。

会社紹介

昭和61年 有限会社テクノマート九州設立
平成元年 物流センター設立
平成10年 CAD/CAMセンター設立
平成15年 本社とCAD/CAMセンターを統合
平成18年 社名を株式会社テクノマートに変更、テクノリサーチセンターを新築
平成20年 東京営業所を開設
平成21年 本社・CAD/CAMセンターをテクノリサーチセンターに統合



高強度のアルミ材を用いた、簡易金型(試作金型)製作のエキスパート企業

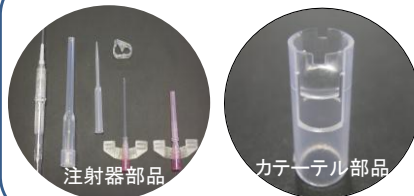


**切削加工のみで金型を作る
県内唯一の技術を開発**

従来、金型は鉄で製作されていたが、様々な加工が必要となるためコストと納期が掛かっていた。

この技術は、研究開発等において多品種少量の試作品を作成することに貢献している。

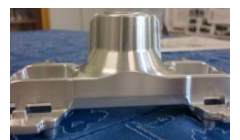
医療機器部品



自動車部品



産業機器部品



お客様にご満足していただくための「5つのお約束」

コストダウンをお約束

従来品の量産金型の価格が
平均して1/2になります。
また放電ワイヤカットレスによる
「エコ加工」を実現。



圧倒的な短納期をお約束

3D/CAD/CAM技術・独自の製法、
24時間体制により、平均して
納期が1/3になります。

高品質をお約束

徹底的な高品質へのこだわりにより
寸法公差 ±0.02 を
保証しています。

小・中ロット生産の 請負をお約束

単品から小・中ロットの対応が可能
1~30,000個位まで対応
しております。

簡易金型なのに 長持ちをお約束

品質寿命アップのため、アルミと鉄を
コラボレーションした
「ハイブリッド金型」を実現

その他の取組

- ・自社の3Dデータ作成技術を活かし、3Dプリンタ事業者と提携してさらに複雑な形状の試作に取り組んでいる。
- ・工業技術センターの人材育成事業研究生を受け入れるなど、人材育成においても熱心に取り組んでいる。

同社は、自動車部品の金型製造を主に行っていたが、医療・福祉分野といった新事業への展開を進めている。

会社概要

創業者 昭和60年2月
代表取締役 長峯 清隆
従業員 44名
業種 一般機械器具製造業
(各種FA機械製造)
所在地 都城市吉尾町1925-1
TEL 0986-27-5300
FAX 0986-27-5301
URL http://www.sys-gi.co.jp/



代表取締役 長峯 清隆 氏

表彰理由

表彰項目 『 新技術・新分野進出の視点 』 ～ 新技術・新製品の開発等により業績を伸ばしている企業 ～

同社は、国内外の半導体メーカーが抱える「マスク蒸着法におけるパターン形成の高精度化」という課題に取り組んだ結果、低コストで高精度なパターンの形成を実現し、国内の半導体メーカーから高い評価を得るとともに、今後は、「宮崎発ものづくり製品」として海外への販路拡大も期待される点が評価された。

会社紹介

昭和60年 株式会社マスト設立（設立当初はコンピューターソフト開発が主業務）
平成62年 工場を建設し、製造分野に進出。リレー用ハンドラーを開発し、製造販売開始
平成元年 社名を「株式会社システム技研」に変更。主業務を自動機・省力化機器（FA機器）製造に移行。
平成8年 宮崎県地域中核的企業育成支援事業の認定を受ける。
平成23年 マスク成膜システム開発



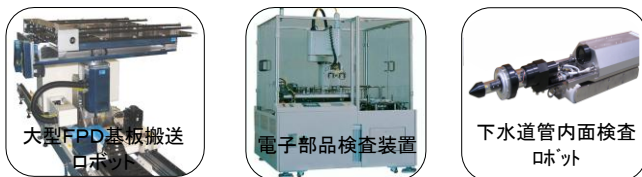
宮崎県のエレクトロ産業における牽引的企業、現場からの視点に立った技術シーズで社会に貢献

お客様の要望に応える、高い技術力と組織体制

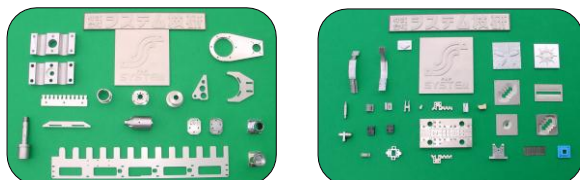


製品紹介 〈 開発部門 ・ 製造部門 〉

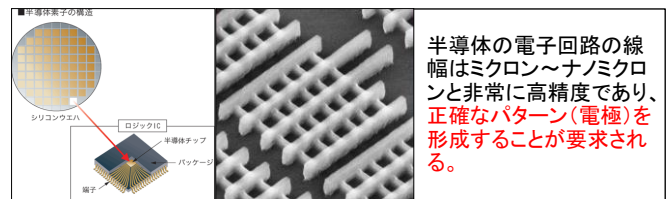
開発部門では、エレクトロニクス(半導体・液晶・電子部品等)自動車分野を中心とした製造設備・検査設備等の開発を展開。



製造部門では、精密部品加工、3次元加工を主力として各分野の機械部品、金型部品及び治具等の製作を行っている。



国内外の半導体メーカーが抱える『マスク蒸着法におけるパターン形成の高精度化』に挑戦



これは世界唯一の装置

低コストでもあるため、国内の半導体メーカーから高評価



会社概要

創業 昭和44年4月
代表者 代表取締役 島原 俊英
従業員 52名
業種 機械製造業(産業用自動化機械・食品工場向け機械・設備等の設計・製造・据付・保全)
所在地 日向市大字日知屋17148-9
TEL/FAX 0982-52-7215/0982-52-7216
URL http://hn-t.co.jp/



代表取締役 島原 俊英 氏

表彰理由

表彰項目 『地域資源活用の視点』

- ・地域の資源や特性を活用した新商品の開発等により業績を伸ばしている企業
- ・地域の視点や県内生産品を活用した事業活動により、地域経済の活性化、被災地域や国内の産業振興への貢献が顕著な企業

宮崎県北部を代表する産業用機械メーカーである同社は、農商工連携による様々な事業に挑戦しており、レタスを水耕栽培する植物工場である「(株)ひむか野菜光房」を地元農家と共同で設立し、同社の強みである製造機械の技術と農業という新たな分野の融合を図っている。

また、農産園芸にバイオマスの発想を取り入れたペレット暖房機の開発にも取り組んでおり、宮崎県の地域資源を活用して地域経済の活性化に寄与することを目的に様々な商品開発を行っている点が評価された。

会社紹介

昭和44年 創業者・島原義海が、延岡の中島鉄工所から独立し、日向中島鉄工所を設立
昭和47年 日向市の食肉加工工場と取引開始
昭和48年 日向市亀崎に660㎡の製缶工場を建設
昭和55年 食鶏加工関連エンジニアリングメーカーとの取引開始
昭和56年 醸造関連エンジニアリングメーカーとの取引開始
平成元年 ステンレス工場を新設
平成3年 現在地(日向市細島工業団地4区)に事務所及び工場建屋を建設
平成11年 現社長の島原俊英氏が日向中島鉄工所に入社
平成13年 2代目社長に島原俊英氏が就任
平成24年 レタスの水耕栽培を行う野菜工場「(株)ひむか野菜光房」を地元農家等と共同設立



宮崎県北部を代表する産業用機械メーカーであり、農工商連携による様々な事業に挑戦

主な業務内容

お客様の要望にそった『オーダーメイド』の製品を提供



製品紹介 < 技術と機動力で高品質・短納期を実現 >



食肉工場向機械



食品製造機械

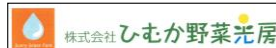


発酵醸造機械

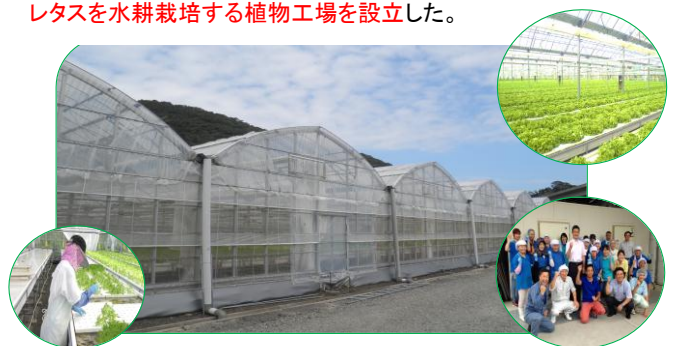


製糖工場向機械

農商工連携による新事業への挑戦



2012年に、日の出酸素(延岡市)と門川町の農家と共同で、レタスを水耕栽培する植物工場を設立した。



県の「農商工連携ビジネスモデル創出事業」に認定されており、モデル事業として注目が集まっている。

産学官金連携事業・その他



太陽集光装置

宮崎大学や県、光学機器メーカー等と共同で、太陽熱を集め水素を製造する装置を開発。



バイオマス温水器

ペレット暖房機・バイオマスボイラー・鮮度保持装置など、地域課題の解決に資する機械・装置類を開発。